

環境教育特別委員会事業報告

1 「環境教育研修会A（幼児教育における自然体験教育実践篇）」

◆ 受講者31名

日程	会場	内容
5月28日(土) 9:30~12:00	ウイルあいち 会議室5 (名古屋市)	「幼児期における環境(自然体験)教育とは？」 ① 基調講演 講師 委員長 牧原東吾 ② グループによる話し合い
6月18日(土) 9:30~12:30	蒲郡あさひこ幼稚園 (蒲郡市)	「豊かな自然教育を実践するために、幼稚園の施設・環境をどのように生かすのか」 ① 幼稚園の施設や環境を見学したり、実際に試したりする。 ② ワークショップをとおして、幼児期における環境(自然体験)教育の具体的な展開を学び合う。
7月9日(土) 9:30~15:00	よさみプレーパーク (刈谷市)	「プレーパークの活動から学ぶもの」 ① プレーパークの見学あるいは参加 ② 講演 講師 名古屋市緑児童館長 日本冒険遊び場づくり協会地域運営委員 塚本岳 自然遊びを中心に、子どもたちの自主性を最大限に生かしたプレーパークの活動が各地で盛んになっている。多くのそれは自治体の協力や支援を得て、専門性豊かなプレーリーダーや、保護者によって運営されている。この活動から、子どもたちが自然の中でどう遊ぶことによって感性豊かに育つのか、そのヒントを学ぶ。

2 「環境教育研修会B（多様な視点からヒトと自然・社会の関係性を考える教養篇）」

◆ 受講者27名

日程	会場	内容
9月16日(金) 14:00~16:30	ウイルあいち	① 「ガンが教えてくれたこと ーいのちと医療のかかわりをとおして」 講師 ホスピス研究会代表 金田亜可根 ② 質疑応答・研究協議会
10月28日(金) 15:00~17:30	名古屋青少年文化センター アートピア 第1スタジオ(仮)	① 「ソウル・フラワー・ユニオン中川敬 ーいのちの弾き語りー」 講師 ソウル・フラワー・ユニオン 中川 敬 バンド「ソウル・フラワー・ユニオン」のフロントマンとして、北朝鮮、東ティモール、パレスチナ難民キャンプ、辺野古など世界の各地で歌い続け、あらゆる場所のいのち・平和と向き合ってきた中川氏をお迎えし、その思いを歌と語りで伝えていただく。
11月25日(金) 13:30~17:00	ウイルあいち	① 記録映画「みえない汚染 ー飯館村の動物たちー」鑑賞会 ② 講演「すべての命」 講師 飯館村動物保護施設「福光の家」代表 平山ガンマン 「強制避難区域」に指定された無人の飯館村。そこに取り残された“最も弱きもの”動物たちのために奮闘する平山さんをお迎えして、いのちとどう向き合うのかを考える。

3 幼稚園の給食の放射能調査モニター事業を実施した。

- ・モニター園 9園実施
- ・5月~2月の間、各園8回(食)、総測定件数72検体陰膳測定
- ・測定機関「Cーラボ 市民放射能測定センター」2インチNaIシンチレーター(アロカメディカル社)で測定
セシウム137の検出限界の平均値は2.55ベクレル/kg、セシウム134は2.80ベクレル/kg
- ・測定結果 全食非検

環境教育特別委員会事業計画

1 「環境教育研修会A（幼児教育における自然体験教育とその環境の構成実践篇）計3回実施」

幼児期の環境教育の理論および自然体験教育の実技研修を、今年度は特に環境構成について焦点を絞り、座学と実際の保育現場、自然の中での研修により、保育技術の向上を目指す。

日程	会場	内容
6月17日(土) 9:30~12:00	ウイルあいち 会議室5 (名古屋市)	「環境・自然教育という視点で園庭を構成するには？」 ① 講師 園庭研究所 石田佳織 ② 質疑応答 ③ グループによる話し合い
9月2日(土) 9:30~13:00	牛川育英幼稚園 (豊橋市)	「幼稚園にて園庭環境をポジティブに遊び、感じ、学ぶ」 ① 講師 園庭研究所 石田佳織 ② 幼稚園の施設や環境を見学したり、実際に試したりして、幼児教育における自然教育・環境教育の具体的な実践をワークショップを通して学ぶ。
11月18日(土) 9:30~13:00	ももの木保育園 (幸田町)	「保育園にて園庭環境をポジティブに遊び、感じ、学ぶ」 ① 講師 ももの木保育園長 宇土敬子 ② 自然とともにある園生活を通して、長年にわたって子どもたちを育んで来た保育園にて自然を遊び感じ学ぶ

2 「環境教育研修会B（多様な視点からヒトと自然・社会の関係性を考える教養篇）」

現代の持続不可能な豊かさの価値観を超えて、幼児の生きる未来を見通した、持続可能な豊かさの価値観を探究する多様な思考力の向上を目指す。今年度は環境教育の基本を確認しつつ、暮らしとエネルギー、国際理解教育という視点から、環境教育のあり方を深く考える研修会を3回実施する。

日程	会場	内容
5月26日(金) 14:30~16:30		「幼児期の環境(自然)教育総論」 ① 講師 牧原東吾 ② 地球環境問題に対して、いかに幼児期の環境教育が重要なのか、幼児の育ちの姿を通して考察する。
7月14日(金) 14:30~17:00	ウイルあいち 視聴覚ルーム (名古屋市)	「暮らしとエネルギー ~里山の生活からみえること~」 ① 講師 名古屋大学教授 高野雅夫 ② 電力自由化が進み、自分が使うエネルギーを自分で選択できる時代になった。エネルギーを選ぶことは、生き方を選ぶこと。里山の中で、できるだけエネルギーを自給して生きる生き方を紹介する。
10月27日(金) 14:30~17:00		「共に生きるということ ~外国人の子ども支援の現場から~」 ① 講師 特定非営利活動法人 トルシーダ 伊東浄江 ② 今では多くの外国人が共に暮らすことが当たり前になっている。地域や幼稚園、学校などが、どのように外国人を理解し、かかわり、共に生きていくのか。豊田市保見団地を始点に、20年にわたって外国人の子どもへの、発達段階に応じた支援を行ってきた経験と知見から学ぶ。

3 幼稚園の給食の放射能調査モニター事業の実施

- ・全県でモニター園を12園募集し、各園の給食を計8回(5・6・7・9・10・11・12・1・2月の間)測定する。
- ・給食1回分の陰膳(丸ごと)測定と、単一食品(食材)も測定も実施できるようにする。
- ・測定機関「Cーラボ 市民放射能測定センター」にて「2インチNaIシンチレーター(アロカメディカル社)」で測定する。
- ・1キログラムあたり3Bq/kgまで測定する。
- ・測定可能核種ーヨウ素131、セシウム134、セシウム137